



～安心を未来へ～

2011年9月10日発行 9月号 No. 199

\*\*\*\*\*

◇「関東運輸局との意見交換」

総務委員長 松本 有司〔台東支部 金方堂運輸株〕

8月22日関東運輸局とロジ研の意見交換の場である「トラック産業の将来ビジョンに関する勉強会」第3回が開催された。今回は物流施設視察を含めてとの関東運輸局側の希望にて、第一部として協同組合新宿摩天楼の見学12名、その後場所を移し第二部として意見交換会17名が参加したが、特に関東運輸局側から秋田自動車交通部長、飯村東京運輸支局長をはじめ7名のご参加には恐縮した。

協同組合新宿摩天楼は昭和37年に設立された新宿陸運事業協同組合を前身とし、平成4年より環境負荷低減、物流効率化を目的に西濃、福山、プラスロジにて高層ビル並びに地下街に一括配送を実施している。協同組合新宿摩天楼の元理事長であり東ト協の古屋副会長にもご臨席いただき、ロジ研の先輩であり同協同組合理事長である吉村先輩より事業内容の説明後、施設を見学させて頂いた。

徒歩にて場所を移した第二部の意見交換会では竹内本部長のご挨拶後、参加者自己紹介並びにロジ研メンバーから事業内容と業界に於ける各々の課題が順番に報告された。中でも東京港に於ける大型トレーラーの渋滞緩和策、環境負荷低減を目的とした伸縮式シャーシの早期認可、45フィートコンテナ受入へのインフラ整備、中型免許制度の見直し、東北大震災での大手運送業の対応に対する不満、高速無料化に伴う大型Uターン現象の防止、業界の地位向上策として救急救命資格の取得や消火器の積載など、活発な意見が提示され、関東運輸局側からは貴重な現場情報の提示として謝辞を頂戴した。

第1回から毎回想う事だが、適えば一人でも多くの同業者から意見を預かり、集約した情報を関東運輸局にお伝えすべきではないだろうか？ロジ研の諸活動の中でも重要な事業に成長したが、それだけこの意見交換会の重みを痛感せざるを得ない。昨年6月に竹内本部長体制4年の集大成として「オピニオン」を作成したが正に「業界発展に寄与する有益な情報を優先順位を以って仕分けし、分析し、発信しその効果を確認することを継続的使命とすべき」重要な任務であり、その責任も重い。

意見交換会は約1時間と短かったが、古屋副会長の乾杯で始まった懇親会では提示された課題について更に意見交換が続き、飯村東京運輸支局長のご挨拶にて閉会した。

◇「国家公安委員会認定とは？」

企画副委員長 飯沢 宗光〔多摩支部 成光運輸株〕

「国家公安委員会認定」の意味とは、国の公安にかかわる最高機関で認めて決められている事ではないのか？そして決め事が法制化していれば、守るべき事ではないのか？

しかし、停止表示板の基準は、道路交通法・道路交通法施行規則で正三角形の一辺のサイズが45cm以上と定められています。守られていない事に疑問を抱いております。最寄りの警察署やディーラー・製造元・政治家・等々に問い合わせをしても、明確な回答が得られません。

法令遵守を、基本に考えている私達にとっては、納得がいきません。車両に装備するにも、規格外の表示板を載せるわけにはいきません。一日も早く規格品の表示板を装備したいのですが、ディーラーやカーショップでは、規格外品の販売はしていますが、規格品の販売はしていないのです。

私達は、法令遵守のなかで、規格品をどこで購入したらいいのか、皆様からのご意見をお待ちしております。

◇お知らせ《○ロジ研行事予定》

- 9/27(火) 16:00～ 東ト総合会館 6階中 三組織連絡会
- 9/29(木) 東ト協ロジ研チャリティゴルフ (E-メール)
- 10/17(月) 16:00～ 東ト総合会館 6階 正副本部長会議
- " 17:30～ " ロジ研オープンセミナー (講師:三橋貴明氏)
- 10/21(金)～ 温故創新(台湾・台北) Aコース 10/21～23、Bコース 10/22～24、Cコース 10/21～24

※申し込みの締め切りを9/14まで延長します。是非お問い合わせください。

◇「9月1日の出来事！！」

朝、いつもの時間に起床すると、珍しく妻が朝早くから台所で朝食とお弁当を作っていた。

『おはよー、今日は早いねー』って妻に声をかけると『今日から学校よ・・・』そっか！昨日で夏休みが終わり・・・するって今日は9月1日・・・『すぐに朝食食べて出かけるから・・・』『今日は何なの・・・！！』

『交通安全協会のボランティアで、あんまり告知してないけど、都内で約100カ所の通行止めを行うからその準備に行ってくる。』 妻の何か言いたげな顔が・・・！

『その話、朝のニュースや番組でバンバン言ってるわよ～ 本当に内緒の話なの・・・？』

エッツ！！ 災害時の通行止めの実証実験だからあまり告知しないって・・・言ってたのに・・・ 確かに交通情報でもないのにまたテレビで告知している。通行止めまで3時間有るから「大震災の発生を想定した交通規制」って意味あるのかな～・・・？

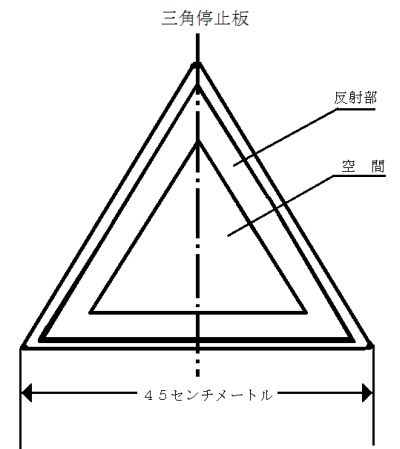
そそくさと朝食を済ませて、トラック協会のベストと帽子をかぶって集合場所の〇〇警察に・・・着いて交通の係長を掴まえて『秘密じゃないけど余り告知しないで言うって2日前に言ってなかった？今朝の報道すごいよ～』『だまし討ちっぽいと後が大変だから、本庁でいきなり変わったみたい・・・実験の要素よりやった事が大切だから・・・上の人には・・・皆さんの迷惑かけますねえ～』

ちょっとお茶を啜って警察をあとして通行止めの予定カ所に30分前に到着 歩道橋の上には野次馬の人達が・・・！！ 配置も決まってふと歩道橋を見るとさっきの倍以上の野次馬が・・・テレビやインターネットの凄さと暇な人々(野次馬)に感心している間に定刻の9時に・・・信号のタイミングで一斉にパイロンと看板で通行止めに・・・幹線封鎖で大渋滞・・・のはずが・・・！

あれっつ！・・・普段の半分以下の車両で・・・5分経ってちょっと渋滞ぼくなって・・・解除直前でそこそこ渋滞・・・？？？ あれだけ告知すれば、時差出勤や事前回避するよな～ この

大規模交通規制

って何だったの？・・・交通の係長が・・・『お疲れ様でした。報告書にトラック協会〇人協力って記入します。ご苦労様でした。』そっか！！この国はやった内容より結果・・・いや報告書が大事って再認識の出来事でした。 どちらね日記より



三角停止板 (1辺 45cm 以上)

温故創新申し込み期限延長します。行程内容の確認は、教育研修部 齋藤 康 まで 電話03-3359-4137